

第 19 期企業ガバナンス部会 研究テーマ

テーマ1	研究の狙い	メンター
<p>統合報告書の作成を通じ、優れた経営計画の立案に繋げ、持続的な企業価値の向上を実現するにはどのようにアプローチすべきなのか？</p>	<p>IIRC(International Integrated Reporting Council)が 2013 年に統合報告書のフレームワークを公表してから約 10 年が経過し、日本でも 900 社近い企業が統合報告書を作成・公表するに至っている。これは統合報告書が経営計画を作成する過程そのものであり、その意義と重要性が浸透してきた証と考えられる。</p> <p>これらの数多くの統合報告書の実例を比較・検証し、持続的な企業価値向上を実現するためには、どのような内容・考え方に基づいて統合報告書を作成すべきなのか実証的に研究する。</p>	<p>田中 荻野</p>
テーマ2	研究の狙い	メンター
<p>非財務資本である知財・無形資産に対する投資や活用等を通じて、如何に上場企業の持続的成長と企業価値の向上を中長期で図るか？</p>	<p>上場企業の過半が PBR 1 倍割れ、ROE 8%未満の状況にあり、現状を打開するためには資本コストや資本収益性を意識した経営や事業ポートフォリオの見直し等による財務資本の改善が求められている。一方で、非財務資本である人的資本への取組みと共に、これ迄 GAFA 等との比較で著しく後れていた「知財・無形資産の投資・活用」による中長期的な非財務資本への取組み強化の視点が求められている。</p> <p>この様な問題意識の下、上場企業の持続的成長と中長期的企業価値の向上を図るために、知財・無形資産戦略の具体的モデル、投資家・金融機関との価値協創に向けたエンゲージメント等具体的な方策を探ると共に、社外役員になった積りで取締役会での審議を通じて知財等を含むサステナブル経営にどの様に取り組むべきかを検討する。</p>	<p>國安 越後屋</p>
テーマ3	研究の狙い	メンター
<p>中小企業の社外役員になるための実践講座</p> <p>「中小企業・スタートアップの企業ガバナンスを考える – その時あなたがその会社の社外役員なら、どうする？ –」</p>	<p>第 19 クールに引き続いて、中小企業の社外役員になるための実践的な準備講座としてこのテーマを設定しました。</p> <p>研究会メンバーが、生の中小企業の経営者や社外役員、あるいはその経験者と直接インタビューをすることを通じて、その会社のガバナンス体制、ESG 対応、サステナビリティなどの在り方について、自分達が同社の社外役員であったら、実際どう行動したら良いかについて一緒に考えていきます。中小企業の社外役員就任を目指している方は、是非参加して頂きたいと思います。</p>	<p>小谷 猪野</p>